

## 厚労科研 大西班『放射線治療の提供体制構築に資する研究』

## 【研究テーマ】

患者側の視点による、あるべき放射線治療提供体制の構築

## 【研究分担者】

小宮山貴史(山梨大学)

## 【研究協力者】

若尾直子(NPO法人がんフォーラム山梨)

齋藤正英(山梨大学)

## 【研究課題】

「あるべき放射線治療の提供体制」に関する患者と医療者の意識調査

## 【研究目的】

患者の視点で考える「あるべき放射線治療提供体制」と、治療を担っている医療者が考えている「あるべき放射線治療提供体制」に、乖離の有無を明らかにし、乖離があればその乖離点について検討する。

## 【研究デザイン】

web及び紙媒体による無記名アンケートを全国で展開し、意見を集約。アンケート結果の解析を行い、今後の放射線治療の提供体制に向けての提言を作成する

## 【対象と方法】

患者：研究者らが所属するがん患者会等のネットワークなどから全国のがん患者会等に対して会員にアンケートへの参加を依頼する。加えて、研究者らが実施するがん啓発イベント等に参加したがんサバイバー等にアンケートへの参加を依頼する。また、研究者らが所属する施設に通院する患者にアンケート調査を依頼する。

医療者：日本放射線腫瘍学会の正会員、準会員にアンケート調査を依頼する。

## 【研究の進捗状況】

2023年11月末 アンケート内容確定(済)

2024年3月 倫理審査提出

2024年4月 倫理審査修正指示

2024年7月 大西班会議後、草間先生、荒尾先生よりアンケート内容修正案

2025年1月 倫理審査再提出

## 【今後の予定】

2025年1月中 倫理審査承認

2025年2月-3月 アンケート調査実施

2025年4月-5月 結果解析、JASTRO演題登録

2025年6月 提言作成

## 【前回研究成果について】

- 「がん」などに罹患した際に提供された放射線治療に対する現状調査
- 調査にご協力いただいた患者さんへの結果の提供の意味でJASTROホームページの「一般の方」のところにスライド形式で結果を公表（2024.7月に済）
- 論文化準備中